

目 次

ご 挨拶

I 本調査研究の目的と成果の活用	1
1. 本調査研究の目的	
2. モデルカリキュラム作成の意図と活用	
II 幼稚園教諭に求められる資質能力と教員養成段階に求められること	4
1. これからの時代の幼稚園教諭に求められる資質能力	
(1) 幼稚園教諭として不易とされる資質能力	
(2) 新たな課題に対応できる力	
(3) 組織的・協働的に諸問題を解決する力	
2. 幼稚園教諭の養成段階に求められること	
III 領域及び保育内容の指導法に関する科目	7
1. 科目構成の考え方	
イ 領域に関する専門的事項	
ロ 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	
2. 「領域に関する専門的事項」のモデルカリキュラム	
(1) 幼児と健康（1単位）	
(2) 幼児と人間関係（1単位）	
(3) 幼児と環境（1単位）	
(4) 幼児と言葉（1単位）	
(5) 幼児と表現（1単位）	
3. 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職課程コアカリキュラムとモデルカリキュラム	
(1) 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職課程コアカリキュラム	
(2) 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」のモデルカリキュラム	
①保育内容「健康」の指導法（2単位）	
②保育内容「人間関係」の指導法（2単位）	
③保育内容「環境」の指導法（2単位）	
④保育内容「言葉」の指導法（2単位）	
⑤保育内容「表現」の指導法（2単位）	
⑥保育内容総論（1単位）	
IV 「幼児理解の理論及び方法」の教職課程コアカリキュラムとモデルカリキュラム	36
1. 「幼児理解の理論及び方法」の教職課程コアカリキュラム	
2. 「幼児理解の理論及び方法」のモデルカリキュラム	
V モデルカリキュラム活用に当たっての留意事項	39
1. 授業モデルを手がかりにして、創意工夫ある授業を創造	
2. 幼稚園教育、又は幼児期の教育を指導する人材を確保	
3. 5領域の教育内容を実践するために必要な資質能力の明確化により質保証	